



【重点目標のキーワード】 〔当面の目標〕生徒会を中心に立花中文化を確立しよう！
表現力・主体性の育成 自分から「**気付き**」「**考え**」「**実行する**」とともに、**相手と自分のために、あいさつと感謝を大切に**する素直な生徒

取るに足らない小さなプライドに振り回されていないか！

今年になって、朝の会の最後に、生徒会の取組による5つの言葉の復唱が行われています。「おはようございます。こんにちは。さようなら。ありがとうございます。よろしくお祈りします。」学級委員の言葉にみんなも続きます。中学生のあいさつ等は、発言することに意義があるではありません。お互いの礼儀や相手の心情、状況に応じて使い分ける必要があります。

ただ、今回の生徒会の取組は、そのあいさつの意味を踏まえた上で、5つの言葉が必要に応じて素直に飛び交う文化を立花中に根付かせたいという願いが根底にあります。

大人でも時としておざなりになるあいさつですが、やはり人間関係の基本である限り素直に伝えたいものです。また、その「素直さ」を妨げる何やら小さなプライドのようなものが、人間関係を滞らせるほどの価値があるかどうかについても、冷静に考えることができる心情や判断力を身につけたいものです！



生徒会による「自治活動」が意義あるものになってきました！

左に示したように、現生徒会は「人として大切なこと」に目を向けて自治的な活動を行っています。保護者・地域の皆さん、学校外で立花中生徒に会ったら是非お声かけください。多くの生徒からは気持ちのよいあいさつが返ってきますし、しっかりした受け応えができることと思います。



基礎学力コンクールでの「自治活動」

今年2回目の基礎学力コンクールが行われました。昨年から学年別でなく赤・青のブロック別の対抗とし、生徒同士による教え合いでの点数アップの取組も行われています。

教え合いは、ただ時間と場所だけ与えられただけでは雑談と化してしまいます。特に教える側には「何ができればいいのか」という目的が明確である必要があります。2年生のステューデントティーチャー（教える側）は、最初は上手くできなかったものの、事前に話し合っ1年生に指導するなどの工夫をしていました。先生がいても頼らず、自分たちで会場をつくって、時間を管理して指導する姿がありました。先生たちはそのお手伝いをしているような感じでした。



学習は本来、させられるものでなく、獲得するものです。是非生徒会を中心に、生徒による学力向上を目指してほしいと思います。



ゆとりは時間の長さではなく、時間の使い方です！



冬休みが終わってから数回、生徒会の取組による「ノーチャイムデー」が実施されました。これは毎日生徒がホワイトボードを見て「気づき・考え・実行する」取組の一環として、自分で時間を気にして主体的に学習に向かうことを狙ったものです。アンケートによると9割の生徒がノーチャイムデーを支持していました。以下はアンケートにあった生徒の「支持する理由」の一部です。

- ・社会の中でチャイムという制度はなく、自分たちが時間を見て行動しなくちゃいけないから。そのための練習になるのですごくいいと思ったから。
- ・この取り組みによってチャイム席に対する意識が高くなったと思うからです。声掛けをする人が増えたので、よい取り組みだと思います。

紙面の都合上紹介は一部ですが、あまりにまっとうな意見が多かったので、かえって私ども職員が生徒の意見に感心させられました。

時間に追いかける人は「忙しい。大変。」が口癖になり、時間を追いかける人は心身ともにゆとりが生じます。時間を追いかける癖をつけましょう！

体験を経験化するー自律する個人の成長が質の高い集団を形成するー

去る1月17日（木）に筑後地区新人駅伝大会があり、結果は42チーム中38位と目標に達しませんでした。しかし、大会に向けての取組の中で選手たちは日々成長していました。

先日、試走に行った時、選手たちは部活等のトレーニングでの筋肉痛を理由に気を抜いた練習をしていました。立石教諭が「やる気が無いなら帰れ！」と一括。選手たちは「やります！」と練習を続け試走を終えました。「できない言い訳」からは何も得るものが無いことを学んだ選手たちの、秋の大会でのリベンジに期待したいと思います。

【出場選手】	井上 滉太
	原 聡英
	牛島 颯人
	中村 如位
	古庄 晃征
	高山大翔
	田中 準一
	月足 凌介
	中村 大聖

